

平成 30 年 9 月,10 月度活動報告

1. 総括

残暑厳しかった 9 月 10 月も皆様に支えて頂きながら、議員活動に励ませて頂きました。ありがとうございました。9 月 10 月は定例議会に始まり、福井国体、市政報告会、会派視察、議会研修会、各種地元会合、後援会活動など怒涛の 2 カ月でありました。9 月議会では、ふるさと納税の活用用途の明確化と発信を議論させて頂き、また台風 21 号で大きな被害を受け一時閉館となっていた市立東浦体育館の早期復旧を訴えました。検索は→(<https://tsuruga-city.stream.jfit.co.jp>) 市立東浦体育館に関しては地域の避難所に指定されている事もあり、市長・教育委員会にも迅速に対応頂き、議会最終日に追加議案として修復の予算が計上されました。結果 10 月 30 日より再開館となりました。

福井国体では敦賀の運動公園屋外プールで 9 月 15 日に行われた競泳の開会式に出席させて頂き、競泳という花形の競技を敦賀で開催するにあたり敦賀水泳協会様はじめ関係者各位は大変な努力をされていたのを見ておりましたので、心から感謝の想いでございました。素晴らしい大会でありました。また、障スポのご公務で敦賀に皇太子殿下がお出ましされ、恐れ多くも休憩場に指定されておりました中郷公民館で市議として特別奉迎をさせて頂きました。

その後、9 月末にはお世話になっている地域で市政報告会を開催させて頂き、約 3 年半の市議の取り組みの報告と、地域のご要望・意見交換をさせて頂きました。10 月に入り、10 月 12 日に後援会執行部会議をさせて頂き、来る統一地方選挙におきまして、様々な打合せをさせて頂きました。後援会執行部の皆様方にはいつも本当にお世話になっており感謝しかありません。

10 月 22 日～24 日まで会派行政視察に行かせて頂きました。福島市で「若者の定住促進事業計画」、青森市で「文化・教育施設の指定管理者制度について」で勉強をさせて頂き、東京都では「全原協創設 50 周年記念講演会・記念大会」に参加させて頂きました。どの視察も大変有意義で参考になりました。特に青森市の視察に関しましては、本市も約 4 年半後に控えます北陸新幹線敦賀開業を見据え、様々な取組みをしている中で、金ヶ崎周辺施設整備計画の目玉である建設費に約 13 億円を投入して大正往時の建物 4 棟を復元し、新たな人道の港ムゼウムを計画しております。初期費用も 13 億円と莫大であり、また敦賀にすでに多く存在します「ハコモノ」を更に造るかたちになります。また年間の維持管理費等で年間約 2,200 万円の赤字で試算しております。確かに人道の港は敦賀のオンリーワンスターリーではありますが、既に面積はさほど大きくないですが大変素敵な既存の「人道の港 ムゼウム」があります。既存の施設で十分役割を果たしていると考えます。これは私の意見ではありますが、新幹線開業の観光客増に関して、本来敦賀として関東地域に発信すべきことは敦賀の素晴らしい「食、自然」であり、これを民間主体で発信できるように行政として民間事業者を支援することにもっと予算を使うべきと考えます。行政は観光政策や人を呼ぶ仕掛けづくりは民間に比べ得意でないと考えますし、本来行政は外向けではなく、敦賀市民の為に税金＝予算を執行し質の高い行政サービスとしてお返しできるように全力を尽くすべきと思います。青森市では「八甲田山雪中行軍遭難資料館」を現地視察させて頂きました。青森市のオンリーワンのストーリーであり、映画化もされております。また文化施設として青森市の施設であり、現在は指定管理者が管理運営を行っております。映画の影響もあり年間約 1 万人の来館者がある中で、歴史・教育施設としてリピーターの獲得に苦勞しており、資料館だけではなく周辺も工夫を凝らし市民が更に集まりやすい場所にと努力されておりました。管理運営に関しては観覧料で年間約 200 万円の収入があるが、その他年間約 2,000 万円を市予算から持ち出しで運営している。本市計画の 4 棟復元、新ムゼウムに関して歴史・教育施設であり、また維持管理費の市予算の持ち出しも高額になると予想できますので、しっかりと注視していく所存です。

